

学院 ニュース

サクセス校は4月6日(月)

早稲田学院は7日(火)より通常授業開始

小・中学生の新学年用教材は、授業当日お渡し致します。

(注) ゴールデンウィーク休校は、コロナウイルス感染拡散状況により変更の可能性があります。変更等が発生した場合は改めてご連絡いたします。
(4月中に通常授業が出来なくなった場合、代替授業の開講を検討)

今月の行事

1～2日	早稲田学院 中2・3生 講習会
2日(木)	早稲田学院 春期最終日 中2・3生学力テスト
3日(金)	大学受験校 サクセス 春期最終日
3日～6日	早稲田学院休校
4日～5日	サクセス校休校
7日(火)	早稲田学院 各校授業開始
下旬～	中3生 第一回三者面談
26日～30日	休校予定

5月の行事

1～6日	ゴールデンウィーク休校予定
7日(木)	早稲田学院 全校授業開始
8日(金)	サクセス校 授業開始
中旬	中学生中間テスト対策
下旬	小・中学生 学力テスト

ゴールデンウィーク休校 4月26日(日)～5月6日(水)の予定

◆◆ 中3生の三者面談について ◆◆

4月中～5月上旬に中3生対象の第一回三者面談を行い、受験についての情報等をお知らせすると共に、心構えについてのアドバイスを行います。日程等は後日お知らせ致します。

♪ さあ4月だ♪、今月の目標は？

4月は気分一新の月、新たな気持ちで学習に取り組みたいものです。そこで身の回りの環境をちょっと変えて、気分も新たに目標に向かいましょう。そのためには机の上を整理したり、目標を書いた紙や学習計画表を貼ったり、学習する雰囲気を変えてみてはいかがでしょうか？ 意外と効果が上がり、新たな意欲を燃やすことが出来るかも知れません。

また書くスピードが遅い生徒は自分で意識して早く書けるように努力して下さい。

小学生 計算力・読む力を付けましょう

計算力は算数の基本です。もし計算が遅いなどの弱点がありましたら、この時期に克服して下さい。そのためには具体的にどのような計算が苦手なのかを知って、何回でも演習を繰り返して下さい。読む力は全教科の基礎となる力です。読む力を伸ばすためには、学習した教科書を繰り返し自宅で音読して下さい。ゆっくりですが必ず効果が表れてきます。

小6生 弱点補強を1日1時間

中学入試を目指している生徒はあと10か月しか残されていません。この残された時間を有効に使って合格を手にするためには、まず最初に苦手教科、部門をしっかり学習しておくことです。1日1時間は苦手の学習に費やし、総合学力の向上に目標を置きましょう。

中1生 気分を一新してスタート

最初のうちの中1の学習内容は意外と簡単ですが、ここで安心してはいけません。小学校で学習した内容は、全て理解されているものとして授業が進められますので、学校の授業内容の復習を必ず家庭で行い、十分に理解しておくことです。これをしておかないと秋になって内容がレベルアップしてきた段階で、理解できなくなってしまいます。特に英単語を覚えておかないと、英語嫌いに直ぐなってしまいます。

中2生 入試を左右する中2の勉強

まだ入試は先の話だなんて思い油断して、中2の学習を甘く見ているとひどい目にあわされます。入試のかなりの部分の出題は、中2の学習範囲から出されます。通称『中だるみ現象』がやってくるのも時間の問題ですが、決して甘く見ないことです。

中3生 目標の高校を絞り込もう

来年は受験です。この時期になって目標高校が決まっていけないようでは、努力のしようもありません。公立を第一志望とするのか、私立をどうするのか、それによって意識、意欲、勉強の方法、受験科目も異なります。次に現状の自分の学力で、現時点での合格の可能性が如何ほどなのか理解しておかなければなりません。時間はあっという間になくなっていき、気が付いたら手遅れになっていましたでは、困るのは自分ですよ！

高1生 自分の目標と進路を考えて

さあ、あこがれの高校生となりました。毎日が新鮮に見えることでしょうか。しかし新しい生活が始まることは、次の段階へ進むことの始まりなのです。自分が何のために今の高校へ進学したのかをよく考え、次の準備をしておくことです。

高2生 新たな気持ちで

昨年の今頃は高校へ進学したばかりでしたが、あれからもう1年が過ぎてしまいました。この高校2年という学年は自分の進路を大きく決定する大切な学年です。後悔しないためにも、もう一度原点に戻って自分を振り返り、将来を見つめた勉強に励んでください。

高3生 弱点補強の勉強を！

現役はいかに時間を有効にやりくりして使うかが、大きなポイントとなります。夏までに弱点の補強と基礎学力の充実をして、秋からの飛躍に備えておくべきです。遊んでいる時間はありません。

再 掲 載

特集 東大生に見る作文の重要性 第1回

偏差値 35 から「奇跡の東大合格」を果たした筆者が、「最強の勉強法＝作文」を解説します

西岡 壱誠氏

偏差値 35 から奇跡の東大合格を果たした西岡壱誠氏。そんな彼にとって、東大入試最大の壁は「全科目記述式」という試験形式だったそうです。

「もともと、作文は『大嫌い』で『大の苦手』でした。でも、東大生がみんなやっている書き方に気づいたとたん、『大好き』で『大の得意』になり、東大にも合格することができました」

「誰にでも伝わる文章がスラスラ書けるうえに、頭も良くなる作文術」を新刊『伝える力』と「地頭力」がいっしょに高まる 東大作文』にまとめた西岡氏に、「本質的な勉強法」としての作文の効能について解説してもらいます。

みなさん、いちばん効率的な勉強法は「作文」です。

他人に伝わる形で文章を作ることこそが、結局この世でいちばん効果的な勉強法なのです。

……なんていうと、みなさん「何言ってるの?」「そんなわけないじゃん」と考えるかもしれません。でもこれ、偏差値 35 から 2 浪して東大に受かり、300 人以上の東大生の勉強法を研究してきた僕が行き着いた、1 つの真理なのです。

「作文」というと、読書感想文のようなものを想像する人もいますが、ここで言う作文は、「自分の頭で考えて、自分の言葉で文章を組み立てる」過程のことを指します。そして、東大生の勉強には、いつもどこかにこの「作文」という要素があるのです。それがいちばん顕著に現れているのは「ノート」です。僕は今まで東大生の勉強法の取材の過程で、100 人以上の東大生のノートの取り方を調査してきました。その中でわかったのは、「東大生はノートを作文している」ということです。

ノートといえば、授業で先生が黒板に書いたことを写したり、教科書に書いてある内容を書き直したりして、情報を整理して暗記するために書くものというイメージがあると思います。

しかし、東大生はそうではありません。例えば東大生のほとんどは、先生の言ったことや黒板に書いてあることをそのまま書き写したりはしません。授業の内容は、写真で黒板を撮ったり、授業を録音したりして、ノート以外の何かにまとめている場合が多いです。

では、東大生はノートを取らないかという、そんなことはありません。しかしそれは、僕たちのよく知るノートとは違って、**先生が語った内容や教科書に書いてある内容から、理解すべき情報や記憶しておくべき内容を「自分の言葉でまとめ直す」、すなわち作文**をしています。

先生の言葉をそのまま写すのではなく、自分の言葉に言い換えたり、教科書から得た補足の情報を書き加えたり、時には情報をそぎ落としたりして、「**自分の言葉で**」まとめ直しているのです。

「自分の言葉」、というのがすごく重要なポイントです。ノートを書くにあたって、**自分の頭で情報を噛み砕いて、納得し、そのうえでノートに作文するという過程**を取っているのです。

つまり、東大生はノートを「作文」することで、情報を自分のものになっているのです。

作文すると成績が上がる、これだけの理由

ノートに限らず、東大生は知識の吸収と同時に作文を行っています。

例えば、東大生の多くが実践していたと語る勉強法の1つに、「**自分の言葉で人に説明する**」というものがありました。今日勉強したことや、今日、本を読んで理解したことを、親御さんや友達に説明するのです。

東大合格者の多い名門と呼ばれる高校ではこうした「**教え合い**」が文化になっていることが多く、高校時代のテスト前にみんなで得意科目を説明し合ったり、それを解説したプリントを作っていたと語る東大生は多いです。

東大に入った後も、それは引き継がれています。東大の授業のほとんどは、学期の始まりにクラスで担当の学生が決められ、テスト前にはその生徒がほかの学生に勉強を教えるという仕組みが作られています。「試験対策委員」というシステムで、その授業のポイントをまとめた「試験対策プリント」を作文するのです。

そして、その担当授業を持った学生は、ほかの学生にきちんと説明できるようにその授業を頑張り、その授業で高得点を取るというのが通例になっています。

一体なぜ、作文を勉強の中に取り入れると成績が上がるのでしょうか？それは、作文が究極のアウトプットだからです。

本や授業で知識を吸収するのがインプットで、その情報を使って問題を解いたり誰かに説明するのがアウトプットだと考えると、実はアウトプットのほうが学習効率が高いのです。コロンビア大学の研究において、インプットとアウトプットは「3:7」の割合で勉強するといちばん記憶が定着するということがわかっています。

続く

進学予備校 早稲田学院 (中学・高校受験部門)

清見台校 〒292-0045 木更津市清見台 1-23-21 TEL 0438-25-6363

請西校 〒292-0807 木更津市請西南 3-25-2 TEL 0438-37-5511

大学受験講座「サクセス」

〒292-0804 木更津市文京 6-11-17 TEL 0438-25-7878